

## 2020年度 剰余金処分について

生協では、組合員さんの利用で生み出した剰余金を、将来の目的のために積み立てたのち、利用や出資金に応じて組合員さんに還元します。これを剰余金処分といいます。

剰余金処分の考え方は、①将来の基盤づくり ②もしもの時の備え ③組合員さんへの還元とします。

当事業年度の剰余金処分において、共有財産である法定準備金及び任意積立金に27億8,580万円、組合員さんへの還元5億8,156万円とします。剰余金処分は、生協法にもとづいて、毎年の総代会で決めます。

		(単位：円)
I. 当期末処分剰余金		4,073,447,927
II. 剰余金処分類		
1. 法定準備金	537,000,000	
2. 利用分量割戻金(供給事業)	523,430,150	
3. 出資配当金	58,132,850	
4. 任意積立金		
(1) 支所開設積立金	1,000,000,000	
(2) 物流最適化積立金	1,000,000,000	
(3) 資産再評価積立金	100,000,000	
(4) 福祉推進積立金	50,000,000	
(5) 災害支援積立金	43,000,000	
(6) 商品安全推進積立金	41,000,000	
(7) 経営基盤強化積立金	10,000,000	
(8) 環境事業積立金	3,800,000	
(9) 平和活動積立金	1,000,000	3,367,363,000
III. 次期繰越剰余金		706,084,927

## 生活協同組合おおさかパルコープ 2022年 総代選挙公示

定款第45条(総代の選挙)および総代選挙規約第4条(総代の選挙区及び総代定数)にもとづき、生活協同組合おおさかパルコープ2022年総代選挙を以下のとおり行ないます。

【記】

- (1) 総代定数および選挙区について  
①総代定数は500名とします。  
②選挙区は、以下の8選挙区とします。

選挙区	定数	選挙区	定数
枚方市	92	大阪市A	50
寝屋川市・守口市・門真市	76	大阪市B	79
大東市・四條畷市・交野市	48	大阪市C	53
		大阪市D	55
		大阪市E	47

- (2) 総代届けの期間は、本公示日より、7月27日(火)正午までとします。  
(3) 総代選挙規約第2条(総代選挙管理委員)にもとづき、下記の5名を2022年総代選挙管理委員に任命します。  
瀧井 文子、堂馬 信子、茶谷 隆子、石田 紀久代、高橋 節子  
(4) 総代立候補届けは「所定の用紙」に必要事項を記入して、総代選挙管理委員会に提出して下さい。

2021年6月28日  
生活協同組合おおさかパルコープ  
理事長 奥井 和久

※オブザーバー登録を希望される組合員さんは、組合員活動部へご連絡の上、「所定の用紙」に必要事項を記入して、7月27日(火)正午までに下記までご提出ください。

※この件に関するお問い合わせは下記までご連絡ください。

パルコープ組合員活動部： ☎ 06-6242-0904  
FAX 06-6242-0926  
(電話受付時間 月～金：午前9時～午後6時)

## 公 告

### 2020年度出資配当金・利用分量割戻金(供給事業)のお支払いについて

2021年6月8日の通常総代会で、2020年度決算剰余金の出資配当金、利用分量割戻金(供給事業)が決まりました。お支払い方法は、出資金への振替を下記の要領で行います。

#### 計算基準

〈出資配当金〉年率0.3%の金額です。  
2020年4月～2021年3月の各月の20日現在の出資金が基準です(毎月20日の出資金口数残高の合計÷12×0.3%)。1口=1000円です。

お支払いは源泉徴収税20.42%が控除された金額となります。  
〈利用分量割戻金(供給事業)〉  
対象期間は2020年3月21日～2021年3月20日となります。共同購入については年間利用額の1.0%です。

(食べてSmile、ファミリー、くらしのパートナー【別便を除く】、にこにこほっぺ、すくすくくん、よやすぐり【宅配を除く】、からだに思いやり、eフレンズ限定【チケットを除く】)のご利用が対象となります) 店舗については年間利用額の0.3%です。

(ギフト、チケット、切手、印紙、ハガキ【年賀状含む】、宅急便代、粗大ごみ券、商品券代を除くご利用が対象となります) ※出資配当金および利用分量割戻金(供給事業)の計算で出た10円未満の端数は切り捨てて計算いたします。

#### 該当組合員

本事業年度末(2021年3月20日)に在籍する組合員でかつ総代会当日(2021年6月8日)の在籍組合員です。

#### 支払方法

全額7月20日出資金に振り替えるものとさせていただきます。ただし、返金希望の方の受付は、7月上旬にお届けします「出資配当金・利用分量割戻金のお知らせ」にて案内いたします(共同購入利用の方へは6月28日～7月2日配布の注文書とセットで、店舗のみ利用・共同購入で注文書の発行が無い方は7月上旬にハガキでお届けいたします)。

#### ※共済割戻しについて

〈たすけあい〉共済の割戻は、「日本コープ共済生活協同組合連合会」から実施されます。9月中旬～下旬に契約者宛にお知らせが郵送されます。

2021年6月9日 生活協同組合おおさかパルコープ

文書発言を含め37件の発言をいただきました。議案を深める意見と受け止め、今年の事業で努めてまいります。

食の安全への継続した取り組みと生産者への想いをいただきました

食の安全の前提は「生産者との信頼関係」がベースです。しかし、1年半に渡りコロナ禍の中で産地訪問や集まって交流することができない状況が続いています。新たな試みとして、オンラインを活用した「JAI いなばさんとの交流会」を行いました。引き続き、紀ノ川農協さん、おみやま酪農業協同組合さんでも行います。

共同購入が持つ「コミュニティの場に対する期待、商品・しくみへの要望をいただきました

組合員さんの期待を受けて現場の配達職員の労働環境を改善していきます。

また、環境に配慮した「ラベルレスの商品」や、「eフレンズの改善」など、日本生協連・コープきんき事業連合とも連携し取り組みをつよめていきます。

店舗への期待と改善・励ましの声をいただきました

店舗のコロナ安全対策は引き続き行いながら、楽しく気持ち良くお買い物をしていただけるお店をめざしていきます。

電子マネーについては、最終7月20日に全店で導入予定ですが、要望のあった専用チャージ機については、下期に向けて設置の準備を進めていきます。

福祉事業にも期待をいただいています

2022年上期には「東住吉福祉センター(仮)」の開設を準備しています。これからも、利用者さんの自立を援助し、住み慣れた地域で安心してくらし続けたいという願いをサポートしていきます。

地域で自主・自発的な組合員活動がすすめられています

「集まることができない中、オンラインを使った学習会や地域の取り組みが広がることは良いこと」との声がある一方で、通信環境が整っていない方や、アプリの使い方が難しいとの課題もいただきました。組合員会館を拠点として、オンライン学習のサポートを始めていきます。

くらしの変化の中で組合員活動や総代選出に課題があります。事業と地域の活動など連携させていくなから将来に向けて模索していきます。

生協らしい支援活動を継続してまいります

コロナウイルス感染者で自宅療養の方への配食サービス、募金や、地域と連携したフードドライブの取り組みなど、助け合い・協同の理念にそった支援活動を継続していきます。

## 2021年通常総代会アピール

おおさかパルコープは庶民の町大阪で、くらしに役立つ事業と活動を、組合員さんの出資・利用・運営参加ですすめてきました。この間、現場職員の働く環境の改善を進め、コロナ禍の中でお手紙や励ましをいただいて、職員はやりがいを持って働いています。

コロナ禍で大変な1年でした。医療関係者のみなさんは過酷な環境の中、治療と看護を続けています。飲食・観光・文化や娯楽、町の商店や中小企業が廃業や倒産に直面しています。雇用と事業を持続させる補償が必要です。消費税の増税が、くらしに重くのしかかっています。コロナ危機から国民のいのちとくらしを守る施策を求めます。

格差と貧困の拡大が、人々の健康で文化的に生活する権利、子どもたちの幸せに育つ権利をおかしています。私たちは被災地支援や子ども食堂への食材提供、お買い物支援などに前向きにとりくみます。

日本は生命の源「食」の多くを輸入に頼り、食料自給率は下がりに続いています。産地は高齢化や自然災害の増加の中でも、懸命に努力しています。私たちは生産者に寄り添い、メーカーさんと手をつなぎ、第一次産業や地域経済に貢献していきます。

今年1月、すべてのヒバクシャの悲願だった「核兵器禁止条約」が発効しました。私たちは日本政府に署名と批准を求めます。私たちがめざすのは、誰もが平和で安心してくらせる社会です。一人ひとりのくらしのあり方が、気候変動に大きな影響を与えています。青い地球を守り、持続可能な社会を子どもたちに残すのは、大人の責任です。マスコミの情報だけにまどわされず、みんなで学び考えていきましょう。主権者である私たち国民の選択で、社会は変えることができます。

生活協同組合おおさかパルコープ 通常総代会

## 発言を受けての理事会のまとめ(要約)

文書発言を含め37件の発言をいただきました。議案を深める意見と受け止め、今年の事業で努めてまいります。

食の安全への継続した取り組みと生産者への想いをいただきました

食の安全の前提は「生産者との信頼関係」がベースです。しかし、1年半に渡りコロナ禍の中で産地訪問や集まって交流することができない状況が続いています。新たな試みとして、オンラインを活用した「JAI いなばさんとの交流会」を行いました。引き続き、紀ノ川農協さん、おみやま酪農業協同組合さんでも行います。

共同購入が持つ「コミュニティの場に対する期待、商品・しくみへの要望をいただきました

組合員さんの期待を受けて現場の配達職員の労働環境を改善していきます。

また、環境に配慮した「ラベルレスの商品」や、「eフレンズの改善」など、日本生協連・コープきんき事業連合とも連携し取り組みをつよめていきます。

店舗への期待と改善・励ましの声をいただきました

店舗のコロナ安全対策は引き続き行いながら、楽しく気持ち良くお買い物をしていただけるお店をめざしていきます。

## 2021年度事業計画について

2020年度の事業経営の結果は、全国生協でも組合員さんの利用を伸ばしています。経常剰余金は全国平均では3%に対し、パルコープは6%と全国トップクラスの実績を確保できました。

今、コロナ禍の中、歴史の大きな転換点です。明日の為に今なにを準備するのかという考え方も、今後2025年に向けて、組織の改革、新たな配送センターの開発、供給が増えでも安定して商品の仕分けができる物流センターの建設、店舗のリニューアル、職員教育・育成、働く環境整備など、将来に渡って組合員さんが安心して利用できる準備を行なっていきます。

## \*退任のごあいさつ\*



パルコープ前身の3生協の創設者は、76年前の約2000万人の外国の方と、約300万人の国民の命を奪う日本の侵略戦争に、従軍したり被爆したことと、戦時下、生協をはじめ国民の人権がはく奪されたことから、日本の戦争放棄と、組合員一人ひとりの意志と参加でつくる生協を何よりも大事に目指してきました。私たちはそれを引継ぎ、次につないでいきます。

府民・組合員さんのくらしは、度重なる政権の新自由主義政策によって労働法制と社会インフラが破壊された上に、今回のコロナ禍による失業・所得減少に直面しています。だからこそ組合員さんへ生協の担当者があたたかい対応ができることと、生協ならではの商品づくりのために、強い財務とさらなる労働環境の改革の進化に次期の役員の方皆さんへバトンをお渡しします。

9名の退任理事・監事を代表して  
前理事長・所 清司